

(1) 接種時の注意点

登録飼養衛生管理者による

豚熱ワクチン接種のための研修 (III)

～ 接種技術 編 ～

1

接種前の確認と準備

注射器具（注射器と針）の扱い

具体的な方法

接種後の記録と片付け



2

接種前に確認すること

□ 接種票の指示内容

- 接種日齢
- 接種頭数
- 実施期間

□ 出荷予定日

と畜場出荷20日以内の場合
ワクチン接種はしない

□ 豚の健康状態

異状があればすぐに家保に連絡

豚熱ワクチン接種票		使用番号	チェック欄	
対象医薬品	ワクチン名	豚熱ワクチン		
	数量	20ドーズ バイアル 50ドーズ バイアル		
対象動物	動物種			
	頭数	繁殖： 頭 哺乳： 頭 肥育： 頭 計： 頭		
	日齢（自動）	自動	自動	
	特徴（品種など）			
認定農場	農場名称			
	住所			
登録飼養衛生管理者	登録者氏名			
	電話			
指示理由	豚熱ウイルス感染防止のため			
指示内容	用法	接種日齢 子豚 日齢 導入豚 導入豚	日齢以降 チェック欄	
	用量	1ml		
	接種の実施期間			
	休業期間	接種後20日以内は出荷しないこと		
	その他			
使用状況	使用年月日			
	使用した場所			
	使用に供するために畜場または出荷するまで			
	上記のとおり指示します。			
獣医師	所属施設名	氏名		
	住所	電話番号		
<small>本券は登録飼養衛生管理者記録簿（本接種票に併せて豚熱ワクチンを使用した際には必ず記入すること。） 接種記録簿を記載する場合は、チェック欄を利用して、指示の内容をよく確認の上、チェック票の印をチェック欄に記入してください。また、接種記録簿を記載する場合は、接種終了後直ちに使用状況等の欄に必要な事項を記入すること。</small>				
○一か月以内の接種予定				
	予定日			
	予定頭数			
合計頭数	頭			
ワクチン必要量	(20ドーズ 本、 50ドーズ 本)			

3

ワクチン使用時の注意 1



粉 (ワクチン)

溶解用液

□ セット

粉末：真空になっている

液体：溶解用液

□ 容量

20頭分、又は50頭分

□ 接種予定頭数に応じて、

必要本数を溶かす

不足分は足りなくなってから
溶かすようにしましょう

4

ワクチン使用時の注意 2

- 使用する当日、できるだけ直前に溶かす
(生ワクチン)



- 他のワクチンを加えない、混ぜない

- 乾燥ワクチン（粉）と溶解用液（液体）を混ぜる際は、消毒した器具を使う

クイッカー

- やさしく混ぜて均一にする

家保では、水洗後、アルコールに浸して消毒しています
消毒薬は、使用する前に確実に取り除いてください



5

使用してはいけないワクチン

- ◆ 適切な温度管理がされていない
- ◆ 使用期限が過ぎている
- ◆ 外側または中身に異常がある

最終有効年月



使用を中止し、家保に相談

- ◆ 前回の使い残りは使えません！（効果がなくなっています）

使用後のワクチン瓶は、中身が残っていても家保に返却



6

連続注射器の種類



1 ml接種できればOK！
農場ごとに使いやすいものをお使いください



プラスチック製



プラスチック製

7

注射針の用意

- 使用する注射器にあったものを十分量用意する
- 豚のサイズに合わせて変える
- 針の取扱説明書に従い使用
(例)使い捨ては、再利用しない
再利用できるものは、消毒を確実に実施



肥育用



8

体重	針の太さ	針の長さ
5 kg以上	22-23ゲージ	10-12 mm
10~20 kg	21-22ゲージ	12-18 mm (1/2-3/4インチ)
20~60 kg	19ゲージ	16-25 mm (3/4-1インチ)
60~100 kg	18ゲージ	25-32 mm (1-1・1/4インチ)
100 kg以上	16ゲージ	38-44 mm (1・1/2-1・3/4インチ)

9

注射針の取り扱い（接種時）

□手順書に従って交換する

(例)

子豚：豚房（マス）ごと
成豚：1頭1針 など

□針の交換はバケツなどの上で行う。豚房内やスノコの上で行わない

□多めに用意しておき、
曲がったら、すぐに交換



針捨て用専用容器

10

子豚のワクチン接種

- ◆ 注射の方法：筋肉内注射（または皮下注射）
- ◆ 接種部位：耳の後ろの筋肉
- ◆ 接種したら背中に印（マーク）をつける



11

成豚のワクチン接種

- ◆ 注射の方法：筋肉内注射（または皮下注射）
一頭一針が望ましい
- ◆ 接種部位：耳の後ろの筋肉または臀部（おしり）
- ◆ 接種したら背中に印をつける



12

接種報告・申請

家保に毎回提出

- 豚熱ワクチン管理手数料（60円/頭）の申請
- 豚熱ワクチン使用状況報告（様式14）

接種ごと

FAX、メール又は
電子申請

家畜保健衛生所

家保に月1回提出

- ワクチン使用記録簿（参考様式）
 - 使用した本数（溶かした数）
 - 破損してしまった本数
 - 残りの本数

知事認定獣医師

17

(2) 接種事故の未然防止

発生するかもしれないミス

事故はできるだけ防止する

起きてしまった事故の対処



18

発生するかもしれないミス

- ◆ 接種票の指示に基づかない接種を行った（不適切な接種日齢、接種対象、投与量、投与方法等）
- ◆ 不適切な保管をしていた豚熱ワクチンを使用

抗体価が
上がらず、
免疫付与
されない

- ◆ 注射針を交換すべきところ、実施せず



注射針を介して、
病気が他の豚にうつる

- 接種票の事前確認
- 時間に余裕をもつ

19

事故（人身事故）と対処方法

- ◆ 注射針が従業員に刺さった
- ◆ 接種時に豚等が暴れて、従業員がケガをした

- 豚の適切な保定
- 適切な人員配置



患部の消毒等適切な処置を実施して、速やかに
医師の診察を受けましょう。

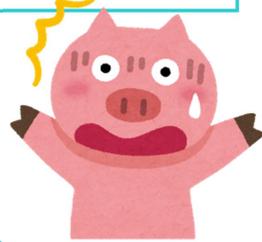
○接種時の事故の補償はできません。

20

事故（豚・豚肉）と対処方法

- ◆ ワクチン接種後に豚が死亡
- ◆ 出荷後、接種部位が一部廃棄（ワクチンの影響）

- 接種方法の再確認
- 接種後20日以内の出荷は禁止



接種票を交付している知事認定獣医師

又は家畜保健衛生所に、御相談ください

○豚や豚肉の保証はできません。

21

まとめ

接種票や取扱説明書に従い適切に使用

余裕をもって、安全に作業



22